

埼玉 労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:澤藤俊昭
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

目次

1～2p) 第2回評議会報告
 県連活動報告と来期活動方針
 個人会員制度、他 冬山情報

3p) 登山学校 第8回講座
 「雪山歩き」報告、他

4p) 遭難安全登山対策会議報告、他

5p) 加盟団体の動き、理事会報告

6p) 南部ブロックスノーシュー、その他



埼玉 労山 第2回評議会報告

【日時】 2011年1月23日(日) 午後1時30分～4時30分

【場所】 高鼻コミュニティセンター

今期の主な県連活動報告と来期活動に向けての

組織拡大と強化、個人会員制度、事故防止と安全登山等の

大まかな活動方針の骨子が提案され、総会議案として承認されました。



去る一月二十三日、大宮の高鼻コミュニティセンターに於いて、埼玉県勤労者山岳連盟 第二回評議会が開催されました。

まず、武笠理事長の挨拶では機関誌の年頭挨拶「新年を迎えて」をベースに挨拶があり、埼玉労山のスローガン『明るく・楽しく・安全に』の基本には団体組織の人間関係形成が必要であるとし、引き続き組織の拡大と強化の重要性を述べられました。

議長に白井氏(三郷山の会)、近藤氏(わらび山の会)を選出、書記に湯浅氏(所沢ハイキングクラブ)、斉藤氏(ハイジアルペンクラブ)を選出。資格審査では加盟団体三〇〇団体に、評議員定数(三十一名)に対し、参加団体(一七)、評議員(二〇) 評議会が成立している旨の報告がなされ、議題にはいりました。

@ 県連活動報告

最初に第一号議案として、県連活動報告が理事長と事務局長からあり、まず今期の活動方針に掲げた組織拡大・個人会員制度の導入等について、具体的に青年対策に向けた取り組みや個人会員制度についても、県連として明確な考え方は出せず、まだまだ議論が必要で、引き続き加盟団体等での討議をお願いしたい。ただ、幸いに埼玉としては会員数が五七一名から六一五名

を増加しており、新しい会員が増えていく加盟団体でのHPの充実、登山学校等での安全登山教育の成果の表れかと報告がありました。

事故防止活動では、恒例となった安全登山講演会が七十一名の参加で盛況の内に終えられ、また登山学校は八回の全講座が無事終え閉校式を迎える事、遭難防止・安全教育担当者会議や救助隊活動を通し、安全意識の高揚と啓発がすすめられ、今後も引き続き継続して行きたいと報告されました。

その他の活動として、岩や沢、山スキー等の各ネット活動も今期の県連活動を充実させてくれました。

@ 専門委員会報告

第二号議案の専門委員会活動報告が各担当者より報告がなされ、これまでの一年間の活動内容の報告があり、また来期の活動に向けた方針と取り組み等の提案がありました。

【遭難防止・安全教育担当】

担当者会議(二回)、全国会議への参加、安全登山講演会等。【自然保護委員会】足尾

植樹、クリーンハイク総括、関東自然保護交流集會に参加。来期：足尾植樹 4/24 クリーンハイク 5/29 決定。

【女性】委員会体制確立、委員会開催(七回) 全国女性委員会主催体力測定(八名参加)

労山五〇周年記念田部井淳子講演会(仙台) 栗駒交流登山に八名参加。全国女性担当者会議に参加。「山でのアクション」を3/12に予定。

【ハイキング】

委員会体制確立、委員会開催。鍋割山ハイキング交流登山(二十四名参加)、機関紙への原稿掲載、全国ハイキングリーダー学校への参加。

【機関紙】156～167号発行内容の充実と見やすい機関紙を目標に写真や加盟団体の動き等を掲載。反省：機関紙委員会や編集会議開催出来ず、原稿少なく発行の遅れ等で迷惑をおかけしました。来期も読まれる機関紙と内容豊かな機関紙づくりをめざします。担当者の登録(寄稿)を。

【海外】

今期は海外登山やトレッキングの情報収集と発信、県連海外登山集會の開催と委員会の確立を方針に活動して来ましたが、加盟団体からの報告のみで、他は出来ませんでした。海外登山やトレッキング等の計画や報告がありましたら情報をお願いします。【岩ネット】

初級者への技術講習や岩登り志向者へのアドバイスやパートナーを求めている方への協力を行ないました。今年度計画実施された山行は10回、2/19～20 湯河原幕岩、3/13 日和田 RCT を予定。【沢・雪

ネット】5/24 沢ネット説明会(十八名)8/22 岩ネット合同沢登り(秩父ナメラ沢 十四

名参加)

【組織委員会】加盟団体組織実態アンケート調査の提案があり、内容の検討がされた。

【救助隊】隊員個々の技術向上と組織レスキュー技術の向上と緊急出動体制を図り、各訓練を実施。隊員間の意思疎通や救助組織力の充実や個人の基本技術の底上げ、役割分担での専門知識等の習得に努めました。西上州捜索訓練や鷹の巣谷沢搬出訓練、武川岳や佐野岩場搬出訓練等を実施。他、技術学習会や2/26～27 谷川岳関東ブロック合同深雪搬出訓練に参加。隊員三十名。

【登山学校・HP】登山学校年間受講者二十六名。1/15～1/16 那須雪山で全講座終了。2/5 閉校式。HP等の情報公開が組織拡大に寄与している事を再認識し、最新情報が掲載出来るように内容の更新を進めたいとおもいます情報提供を。

【ブロック協議会】各ブロックでのクリーンハイクやその他、交流バスハイキングや地図読みや岩登り、雪技、スノーシュー等の取り組みが報告されました。



◎埼玉労山規約改正(案)

先の総会で指摘された、第四章「役員」の第十四条、及び役員選出規定、埼玉労山救助隊規定の一部を訂正した改正案が理事長から提案され、三月に行なわれる県連総会において正式決定される事となりました。

◎第四十四期活動方針案

評議会に於いて、第四十四期総会の議案の提案と検討を行なう為、大まかな活動方針の骨子が提案されました。

昨年と同様で、①組織拡大②個人会員加入制度③新特別基金④事故防止⑤各ネット活動の充実⑥その他

この中でも、個人会員加入制度については、本制度によって会員数減少の抑制を図る前に、各クラブでの組織拡大・強化、各会のリフレッシュに取組むことを大切にし、本制度への取り組みの方向、具体的にとり組むかを、秋に代表者会議を持ち、県連活動や各会の活性化・組織拡大、個人会員加入制度への協力等について協議する事も盛り込まれました。

以上、報告ならび提案された内容は、拍手でもって承認されました。

◎その他

議題に関する質疑と協議事項

*活動実態調査アンケートについて

①山行の区分(無雪期縦走、積雪期縦走、ゲレンデクライミング、フリークライミング等の区分)に注釈を加える。またスノーボードを山スキーの欄に、ウォーキングも追加。

②会員数増加状況は、昨年と今年が比較出来るよう記載。③調査項目に「公開ハイク」を追加する。④調査結果は、各会にフィードバックし、秋に予定している代表者会議の参考資料に⑤実態調査の目的を記載する。

*全国連盟評議会への要望

個人会員制度につき次のような意見・報告・要望があった。①互助の精神で会の下に一緒に山に行くのが楽しいのであり、個人でなく、会の会員との制度に反対。また、会の場合には役務を提供するが、個人の場合、それがなくてすみ、サービスク・情報を受けるだけのためである。

②個人会員の場合、役務提供の義務なく、会費は年3000円で安く、基金の補償は同等であり、会の会員に比し、個人会員の方に、より大きなメリットが生じることから、会の会員の個人会員への移行が生じるのでは?

③個人会員から出てくる山行計画(案)の内容で力量や装備などの確認は難しく、同行者の情報も人数だけである。

会の場合、日頃の活動から力量等の判断可能であるが、個人会員の場合、難しい。本人は勿論同行のメンバーは尚更か。また1万人規模の個人会員から届く山行計画が山行間際に集中する事もあり、対応出来るか心配。

④個人会員制度の導入で、各会としては特に負担が増える事はないと思うが、県連の負担が増える筈であり、県連活動を支援できる人を、今以上に増やす余力はない。

⑤他の県連における先行した実施結果と対応をみてから判断、対応しても遅くないと考え。⑥都岳連(会費年6000円、100人以上の個人会員あり)、群馬岳連(会費年5000円、600人以上の個人会員あり)などで、個人会員制度がある。岳連自身は個人会員の山行管理(計画内容の点検等)はしておらず、講習会・講演会・交流ハイク・機関誌の送付を行うとしている。尚、遭難時のための保険費用は別途。(詳細は当日の配付資料参照)

⑦高齢化が進んでおり、会員数が減っていく。労山の10年後・20年後を考えると組織運営、基金運営が成り立たなくなる。10年後・20年後を見つめた協議を行うことが必要。

⑧組織が力を発揮するには数も大切である。既存の会の拡大・強化を進めながら、個人会員制度導入も手段として必



⑨個人会員の条件として情報提供などの為、少なくともプロアドレス等は必要ではないか。⑩年に1〜2回、個人会員の人が顔を合わせる場を設けるべし。その場にて県連・全国連の人から、会に入会するよう呼びかけることが必要。個人会員に義務を課すことが必要では。⑪県連の無い地区のみ個人会員制度を導入するのはどうか。⑫千葉県連は全国連盟のやり方とは別のやり方で、個人会員制度に取り組んできている。2012年に導入の予定がある。北海道連盟が積極的である。メーリングリストを使って、個人会員間での情報交換を行っている。他の県連は消極的賛成が多い。⑬個人会員制度についての要望・意見を、各会から理事、理事会に提出して欲しい。以上。参考までに

2010年~2011年 各会の冬山情報

*各会のHP・会報から抜粋! 山行予定や情報をお寄せ下さい。

*三郷山の会

- 12/26 奥武蔵・棒ノ折山
12/31~1/2 南八ヶ岳・赤岳、他
南アルプス・鳳凰三山
1/9 日光・霧降高原~赤薙山
1/15~16 登山学校(机上、那須岳)
1/23 秩父・宝登山
1/29~30 奥多摩・雲取山
2/6 浅間・黒斑山
2/11~12 裏磐梯スノーシューー
2/20 奥多摩高水三山(地図読み)
2/27 秩父・二子山、蓼科山(小屋泊)
2/26~27 関東プロ救助隊深雪搬出訓練 谷川
3/6 加波山

*大宮労山

- 12/19 九州・高千穂武蔵
12/25~28 南ア・仙丈ヶ岳
12/25 奥多摩・川苔山
12/27 奥武蔵・棒の折山
1/3~6 南ア・仙丈ヶ岳
1/4 桐生・仙人ヶ岳
1/6 千葉・愛宕山、二つ山
1/9~10 大山・高塚山
1/8~10 安倍奥・山伏~八紘嶺
1/9 秩父・武川岳
1/13 甲府・要害山、帯那山
1/16 九州・石谷山、九千部山
毛無山新年ハイク

- 1/16 天見・府丁山、旗尾山
毛無山新年ハイク
2/5~6 鹿沢・村上山~湯の丸高原
2/11~13 雪山
3/12~13 中部ブロック雪山 平標山

*あすなろ山岳会

- 1/16 栃木・鞍掛山、男抱山
2/11~12 裏磐梯スノーシューー
2/20 菊花山~神楽山地図読み

*わらび山の会

- 1/15~16 登山学校(机上、那須岳)
2/11~12 裏磐梯スノーシューー
2/19~20 美ヶ原スノーシューー



講座では特に遭難の事例を詳しく聞くことにより、雪山に限らず、良いリーダーと良いメンバー、がいかに大切かということが分かりました。事例の事故が記憶に残っていたこともあり、「当時そんなことがあったのか」と驚きな

「雪山歩き」を終えて

1月15日(土) 机上

高橋講師による「雪山歩き」の講座がありました。

雪山の概要から始まり、ピッケル、アイゼンといった用具の説明等、私のようにそれを初めて目にするような初心者にも分かりやすい、いつもながらの丁寧なプレゼンです。



登山学校 第8回
雪山歩き

1月14日(土)

*机上講座
北浦和カワサキホール

1月15日(日)

*実技講座
那須岳
参加者 24名

がら改めて山ではいつも思いがけない事態がおこるものとして、正しい判断ができるリーダー、メンバーが必要だし、多くの知識と情報を参加者全員が共有することが必要だと感じました。

そして、私自身今まで何かと「連れて行っていただく」という気持ちが強くなり、自らが情報や知識を持つという気持ちも薄かったことを反省しました。そして、ピッケルの持ち方、アイゼン装着しての歩きかたを学び、雪崩の危険の学習では実際に雪崩が起きたことを想定して、実際に捜索に使うビーコンをつかっただけの経験をしました。

5時間30分ほどの講習でしたが、座学あり、疑似体験あり、といった受講者を飽きさせない工夫がなされた実行委員のかたの工夫された講義に関心しました。

その夜、翌日の実技の備え、天気図とにらめっこするも日本列島上から下まで低気圧でおおわれ明日の実技に不安が募りました。



1月16日(日) 実技

朝、自宅を出るともう雪が舞うという一日のはじまりです。7時、北浦和出発。茶臼岳へ。登山口のある駐車場に着く頃には、バスの中から激しく吹く風に見えま

す。十一時。駐車場着。総勢24人。

私のような初心者が入るパーティーは冬山の身支度をするだけで時間がかかり、途中のロープウェイ山麓駅に着いた頃にはすでに12時になっていました。

その地点で、実行委員の方が、アイゼン歩行、ラッセル、弱層テストの体験実施後に下山というすみやかな判断をくだされました。

ラッセルは実際にやってみると驚くほど進まないことが分かり、何メートルもラッセルで進まなくてはいけない状況下では相当な体力を消耗してしまふだろうと感じました。

弱層テストではきれいに断層を感じることができ、雪の



層というものはじめて実感しました。その後、アイゼン歩行を体験し14時下山をはじめました。

帽子を被り、手袋をつける、アイゼンを装着する等、思っていた以上に時間がかかり、十分な時間設定を取ることも、また身支度や装備の着脱に慣れておくことが必要だと思いましたが2日間。

机上と実技を通して、雪山の初めのほんの小さな一歩を歩かせていただきました。

真っ白な雪の景色も、他の季節にはない静けさと凛とした空気があり、雪山2歩目も進んでみようと思いつきながら帰途につきました。

登山学校15期生
山原 美代子 記

@ 1月の県連活動報告

- 1/6 三役会議
- 1/15~16 関東ブロック
雪崩講習会
登山学校「雪山歩き」
那須岳 28名
- 1/17 女性委員会
- 1/19 第11回理事会
- 1/20 南部ブロック会議
- 1/23 遭難防止安全教育
担当者会議
第2回評議会
- 1/24 救助隊新年会
- 1/30 岩ネット
(霧積温泉 氷曝)

2010年~2011年 各会の冬山情報

NO2

*訂正・追加あり

*熊谷トレッキング

- 12/25 上越・神楽峰山スキー
- 12/26 妙高山前山スキー
- 12/30 鬼面山山スキー
- 1/7~10 東北・南八幡平山スキー
- 1/23 奥多摩・高水三山鍋ハイク
- 1/30 妙高神奈山山スキー
- 2/11 益子・雨巻山
- 2/11~13 東北・宮城蔵王山スキー
- 2/12~13 北ア・乗鞍岳山スキー
- 2/20 玉原スノーシュー
- 2/20~22 北ア・上高地スノーシュー
- 2/26~27 北ア・上高地
- 3/6 安達太良山スキー (スキーネット)

*荻歩歩富士見山の会

- 12/23 高水三山地図読みハイク
- 12/30~1/1 北八ガ岳・天狗岳
- 1/3 雑司ヶ谷七福神、丹沢大山
- 1/9 川越七福神
- 1/23 奥多摩・日の出山
- 2/6 寄居・鐘撞堂山
- 2/27 丹沢・弘法山
- 西部ブロック玉原スノーシュー
- 3/6 秩父・破風山
- 3/13 百蔵山~扇山
- 3/20 滝山丘陵千葉・愛宕山、二つ山

第十一回 遭難防止安全教育担当者会議報告

一月二十三日(日) 高鼻コミニティセンター

第十一回遭難防止・安全教育担当者会議が一月二十三日(日)九時三十分〜十二時、大宮の高鼻コミニティセンターで十二団体十三名、他県連理事十二名の参加で行われました。

*出席者：榎歩富士見山の会(青木)、所沢ハイキングクラブ(岩政)、椋山岳会(村上)、富士見市峠山の会(宮川)、北本山の会(清水)、日和田ハイキングクラブ(甲斐)、ハイキングクラブ(渡辺)、山遊会(長谷川)、新座山の会(井上)、上福岡やまなみハイキングクラブ(古畑)、三郷山の会(八木原)、わらび山の会(伊藤、近藤)、他

議題 @第十二回全国遭難対策担当者会議 (2010.10.2〜3) 報告

各9名の各連盟、全国理事の参加で行われ、まず登山時報12月号より井芹全国遭対部長の基調報告、次に青山千彰氏(労山顧問・関西大学情報学部教授)の基調講演(山岳遭難事故調査報告書の説明)、城所邦夫氏(山岳気象アドバイザー)の最近の気象情報、異常気象についての報告あり。この中で地方連盟の事故者は埼玉県6名、東京都56名、大阪府27名、兵庫県25名、道央18名、宮城県13名、千葉

県12名、神奈川県12名、福岡県10名(10名以上)。埼玉県の2009年度の事故報告4件、2010年度の事故報告6件でした。

@ヒヤリハットの報告

・新座山の会より3件の報告 1)2010年9月20日八ヶ岳真教寺尾根下山中にて転落。 2)2010年7月11日谷川岳一の倉沢写真撮影中にて雪渓崩落、転落。 3)2010年7月14日層雲峡く

黒岳くトムラウシく天人峡の縦走中、悪天の為、途中黒岳石室小屋で停滞、非難小屋が満杯でテント幕営、EPIガスの個持参も使いすぎで2日分持たず。 ・その他 幾つかの事例報告がありました。

@救助要請について

埼玉県連盟の会員外の救助要請依頼書について説明と討議内容については再度検討する。

@安全登山講演(2010.11.28)

「健康増進のための登山」アングレート集約報告 20件の回収があり、まとめたものを配布。

@その他

こ 雪稜登高会の件 2010年9月29日に奥多摩・御前山に入山して行方不明中

でしたが二月30日警察の協力で御前山北西サス沢にて遺体で見つかる。各関係機関に情報提供の協力をお願いしていただいた捜索終了とお礼の報告。

女性委員会「山でのアクシデント対応」講習(2011.3.12)の案内。 以上 担当理事 尾手 記



2011年 県連山スキー交流山行のお知らせ

- 1 期 日 2011年3月6日(日) 集合場所 あだたら高原スキー場 ゴンドラ乗り場前 午前8時
2 山 域 安達太良山 (2万5千円:安達太良山)
3 目 的 ・山スキーを愛好する労山会員の親睦 ・山スキー技術全般の向上
4 参加資格 ・埼玉労山加盟団体の会員で、遭対基金5口以上加入していること・山スキー用具一式を用意できること(雪崩ビーコン含む)
5 行 程 ゴンドラ駅1300m~山頂1699m~往路を戻る。 ※参加者でパーティ行動をしますので、会内で仲間がいない方もOKです
6 申し込み・問い合わせ 熊谷トレッキング同人 宮田幸男 携帯 090-2721-0949 (午後8時以降) E-mail miyatan182@leaf.ocn.ne.jp

女性委員会 主催

「山でのアクシデント対応 講習会」のお知らせ

- 期 日 2011年3月12日(土) 9:30受付 9:45~16:30
場 所 荒幡富士いきものふれあいの里センター(西武秩父線下山口駅 9:00集合 徒歩15分)
講 師 柴山利幸氏(パル・ブランチ) MFAインストラクター、救助隊副隊長
講習内容 心肺蘇生法(昨年10月ガイドラインが変更になっています。) 応急手当、他 屋外でのシミュレーション
持 物 通常の山行で持参する物、普段持っている救急用品セット、三角布一枚(100cmx100cm正方形を斜め半分に切った大きさ) レサコ(持っている方のみ)
服 装 通常の日帰り山行での服装 *口紅はつけないで参加して下さい。
参加費 800円
申込先 長谷川貞子(所沢ハイキングクラブ) TEL 夜間/FAX 04-2924-4542 E-mail hasegawa-tyk@tbb.t-com.ne.jp



加盟団体の動き

西部ブロック 上福岡山なみハイキングクラブ

私たちの会山なみハイキングクラブは今年で創立20周年になります。20年前はまったくの素人集団で連れて行ってもらった会でした。これといった登山経験者はなく、最初は当時の埼玉県連理事長であった小高さん指導の「中高年の登山講座」から始まり、長い間面倒をみてもらっていました。

2年目くらいにやっと経験者の入会を得て定例山行のほかに個人山行が行われるようになりまし。その後は県連で登山学校などが始まり、毎年生徒を何人か送り出して、みんなで学習も重ね、現在の形ができてきました。



夏山 富士山登山



北アルプス表銀座縦走 赤沢岳にて



ネパールヒマラヤトレッキング

が平均年齢が60歳代になり、何とか若い会員を増やしたいと努力していますが、なかなかうまくいきません。いい方法があったら教えてほしいですね。

岩田 和 記

理事会報告

第十一回理事会が一月十九日(水)さいたま市市民活動サポートセンターで十名の出席で行われました。

*委員会等活動報告・計画

【全国連盟活動】

- ・東日本ブロック雪崩講習会
- ・全国連盟第一回評議会

*県連全体活動

【事務局】

- ・第四十四期県連総会 三月二十七日(日)浦和コミセン(予約済)

- ・個人会員導入の基本構想(案)各会へメール及び郵送

【財政】

- ・二月末で会計締めのため、各委員会決算報告に協力を

【機関紙】

- 166号評議会にて配布予定

【女性】女性委員会 1/17

- ・一山でのアクシデント対応講習会 3/12(土)場所：荒幡いきものふれあいの里センター

【組織】

- ・組織実態調査について調査票の内容について検討

評議会にて提案し意見募る

- 【自然保護】足尾植樹(4/24)

クリーンハイイク(5/29)

【HP】活動報告を更新掲載

【ハイキング】

- ・鍋割山歩行技術講習と紅葉ハイキングアンケート集計

【自然保護】

- ・11/6〜7 関東ブロック自然

保護交流集会 加納自然保護委員長参加(常陸太田・鍋足山)

【海外】

- ・2/27 全国海外集会

- ・木村海外委員長出席

【遭難防止・安全教育】

- ・安全登山講座アンケートをまとめた。ビデオ編集してDVD作成準備をしている。

- ・各加盟団体に配布予定)

【遭難防止会議 1/23 午前

【救助隊】

- ・1/24 新年会 2/7 役員会

- ・2/14 机上学習会

- ・2/26〜27 関東ブロック合同救助隊深雪搬出訓練 土合山の家

【登山学校】

- ・第9回「雪山歩き」

- 1/15〜16 机上、実技(那須)

- 【岩ネット】1/30 霧積温泉

- 2/19〜20 湯河原幕山、3/13 日和田RCT

- 【山スキーネット】3/6(日) 安達太良山山スキー

- 【ブロック活動】

- 西部：1/13 ブロック会議、

- 2/27 玉原高原冬山訓練

- 南部：1/20 ブロック会議

- 2/11〜12 裏磐梯スキー場

- 北部：1月中旬ブロック会議

- 開催予定

*加盟団体活動情報

- 総会：熊谷トレ 12/11、秩父

- アルペン 1/23、山なみ 4/3

- 20周年、峠山の会 4/3、新座

- 山の会 4/3、三郷山の会

- 4/10or17、むらび山の会 4/13

議題

①第二回評議会

一月二十三日(日)午後

於：高鼻コミセン

・役割分担の確認、評議会議案(活動報告・次年度活動骨子作成)について

・全国連盟評議会に向けての要望、意見集約 県連評議会を前に個人会員制について理事間の意見交換

②遭難防止安全教育担当者会議

一月二十三日(日)午後

於：高鼻コミセン

③その他

・会員証の更新 未更新の会は早急に更新手続きを





向かいの雪と天気予報が心配された



南部ブロック

裏磐梯高原スノーシュー交流バスハイク

- 期日 2月11日(金)～12日(土) 1泊2日 バス利用
- 場所 2/11…クワンゴスキー場、デコ平湿原 2/12…猫魔スキー場、猫魔岳、八方台、猫魔スキー、クワンゴ
- 宿泊先 てぼ裏磐梯(東京電機年金基金保養所)
- 参加者 合計 24名(5団体)

秋の岩櫃山バスハイクに続いて、昨年好評だった裏磐梯高原スノーシューを今年も計画。一月より準備を進めて、二九名の予定に対し、二四名で実施。

裏磐梯高原は自然の中で遊ぶアウトドア派には耐えられないフィールドが、四季を通したくさんあります。

宿泊先のてぼ裏磐梯は東京都電機厚生年金基金保養所とは言え、豪華で温泉も最高、何せ安い宿泊費が魅力です。

スノーシューの疲れを取りのんびりと温泉気分も味わえ、玄関を一步出ればそこは自然のフィールド！朝食前に雪原散歩も可能で、二次会のカラオケルームも独占して夜遅くまで楽しめる事に味をしめ、今年も楽しみに一路会津

が、裏磐梯高原に着く頃には周囲は深い雪原に…。スノーシューには最適です。

昨年は裏磐梯スキー場よりイエローフォール、そして次日は猫魔スキー場より快晴の雄国沼と雄国山を体験し、今回はグランデコススキー場からゴンドラを利用し、デコ平湿原周遊してスキー場に戻るコース。初めてスノーシューを履いて歩く会員も最後は急斜面の尻セード等で結構楽しんでいました。

宿に早めに入った為に、のんびりと温泉につかり、そして豪華な夕食！お酒も入り楽しい山談義と交流のひと時は過ぎました。勿論、二次会は沢山のお酒を持ち込んだのでカラオケタイムで夜は更けて行きました。

次日は猫魔スキー場から猫魔岳、八方台、そして巨木ブナ林がみごとに猫魔平を経由してスキー場に戻るコース。

前日の夜に雪が降り、木々の樹氷が素晴らしく、新雪の中白一色の世界！残念ながら時折折陽はさすものの磐梯山等の展望は見られませんでした。皆、満足して楽しくスノーシューが体験出来て良かったと思います。この日はスキー組が4人、クロスカントリーが2人とそれぞれの楽しみ方を追求出来ました。

帰りのバスは、勿論 走る宴会場と交流の場であった事は言うまでもありません。

南部ブロック 事務局
澤藤 俊昭 記

@ 2～3月の県連活動報告と今後の予定！

- | | | | |
|---------|----------------------|------|---------------|
| 2/ 3 | 三役会議 | 3/ 3 | 三役会議 |
| 2/ 5 | 登山学校 閉校式 | 3/ 6 | 山スキーネット 安達太良山 |
| 2/ 7 | 救助隊役員会 | 3/12 | 女性委員会 講習会 |
| 2/11～12 | 南ブロ 裏磐梯スノーシュー交流バスハイク | 3/13 | 岩ネット(日和田RCT) |
| 2/14 | 救助隊深雪搬出机上学習 | 3/16 | 第13回理事会 |
| 2/17 | 南部ブロック会議 | 3/27 | 埼玉県連総会 浦和コミセン |
| 2/19～20 | 岩ネット(湯河原幕岩)全国評議会 | | |
| 2/23 | 第12回理事会 | | |
| 2/26～27 | 関ブロ救助隊深雪搬出訓練 | | |
| 2/27 | 西ブロ 玉原スノーシュー | | |

【編集後記】立春も過ぎて日増しに暖かく感じられる今日この頃！暖かな陽だまりでは、紅梅や白梅等が咲き始め春を告げる草花の開花に確かに早春への季節の変化を感じる事が出来ます。今期の活動も残す所1カ月！県連しかり、各加盟団体でも総会の準備に忙しい毎日をお過ごしでしょうね。来期はより組織拡大と強化に向け、頑張りましょう。機関紙委員会へのご協力もよろしく！

澤藤